

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-506642(P2011-506642A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-537027(P2010-537027)

【国際特許分類】

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 J 5/04 (2006.01)

C 0 8 K 7/02 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

C 0 8 L 15/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 21/00

C 0 8 J 5/04 C E Q

C 0 8 K 7/02

B 6 0 C 1/00 Z

C 0 8 L 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月21日(2011.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 天然または合成ラテックスから凝固したエラストマー材料、

(b) 少なくとも 0.5 デシテックスの線密度、1 デシテックス当たり少なくとも 1.0 グラムの靱性、0.1～6 mm の繊維長さおよび 1 グラム当たり 0.1～2.5 平方メートルの比表面積範囲を有する、天然または合成繊維充填剤、

(c) フェノール系、ブチルラテックス、スチレンブタジエンビニルピリジンラテックス、イソシアネート、および無水マレイン酸と付加したポリブタジエンからなる群から、単独でかまたは組み合わせて、選択される弾性率増強添加剤を含む、配合ゴム商品の製造に使用するための固体エラストマー強化材。

【請求項 2】

請求項 1 の固体エラストマー強化材におけるイソシアネートとして使用され、
温度範囲 30～200℃で「非ブロック化」される、ブロックイソシアネート。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のエラストマー強化材を組み込んだ配合ゴムであって、弾性率増強添加剤の添加なしに製造された比較例の配合ゴムのそれより高い縦方向の応力係数を有する配合ゴム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のエラストマー強化材を組み込んだ配合ゴムであって、エラストマー材料ではなくて、むしろ同じ量の弾性率増強添加剤をゴムの配合中に添加した比較例の配合ゴムより高い縦方向の応力係数を有するゴム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

本発明の調合物は、動力伝達（Vベルトおよびタイミングベルト）、ホース、シール、ダイアフラム、コンベヤーベルト、タイヤ、車輪および防護衣などの、多くの用途に有利に使用することができる。

以下、本発明の態様を示す。

1. （a）天然または合成ラテックスから凝固したエラストマー材料、

（b）少なくとも0.5デシテックスの線密度、1デシテックス当たり少なくとも1.0グラムの靱性、0.1～6mmの繊維長さおよび1グラム当たり0.1～25平方メートルの比表面積範囲を有する、天然または合成繊維充填剤、

（c）フェノール系、ブチルラテックス、スチレンブタジエンビニルピリジンラテックス、イソシアネート、および無水マレイン酸と付加したポリブタジエンからなる群から、単独でかまたは組み合わせて、選択される弾性率増強添加剤を含む、配合ゴム商品の製造に使用するための固体エラストマー強化材。

2. （a）エラストマー材料の100部当たり10～100重量部の合成繊維充填剤

（b）エラストマー材料の100部当たり0.1～20重量部の弾性率増強添加剤を含む、上記1に記載のエラストマー強化材。

3. 前記繊維充填剤が1デシテックス当たり少なくとも18グラムの靱性を有する、上記1に記載のエラストマー強化材。

4. 前記イソシアネート添加剤が、芳香族イソシアネート、脂肪族イソシアネート、ブロックイソシアネート、芳香族ポリイソシアネートおよび脂肪族ポリイソシアネートからなる群から単独でかまたは組み合わせて選択される、上記1に記載のエラストマー強化材。

5. 前記繊維充填剤が、芳香族ポリアミド、ポリオレフィン、ポリアレーンアゾール、ポリエステル、ファイバーガラス、カーボン、セラミック、ポリアクリロニトリル、ポリビニルアルコール、ナイロン、アクリル、綿、セルロースからなる群から、単独でかまたは組み合わせて、選択される、上記1に記載のエラストマー強化材。

6. 温度範囲30～200℃で「非ブロック化」される、上記4に記載のブロックトイソシアネート。

7. 温度範囲40～160℃で「非ブロック化」される、上記6に記載のブロックトイソシアネート。

8. 温度範囲40～100℃で「非ブロック化」される、上記7に記載のブロックトイソシアネート。

9. 上記1に記載のエラストマー強化材を組み込んだ配合ゴムであって、弾性率増強添加剤の添加なしに製造された比較例の配合ゴムのそれより高い縦方向の応力係数を有する配合ゴム。

10. 上記1に記載のエラストマー強化材を組み込んだ配合ゴムであって、エラストマー材料ではなくて、むしろ同じ量の弾性率増強添加剤をゴムの配合中に添加した比較例の配合ゴムより高い縦方向の応力係数を有するゴム。

11. 弾性率増強添加剤の添加なしに製造された比較例の配合ゴムのそれより5%以上高い縦方向の応力係数を有する、上記9に記載の配合ゴム。

12. エラストマー材料ではなくて、むしろ同じ量の弾性率増強添加剤をゴムの配合中に添加した比較例の配合ゴムより5%以上高い縦方向の応力係数を有する、上記10に記載の配合ゴム。

13. 弾性率増強添加剤の添加なしに製造された比較例の配合ゴムのそれより30%～200%高い縦方向の応力係数を有する、上記11に記載の配合ゴム。

14. エラストマー材料ではなくて、むしろ同じ量の弾性率増強添加剤をゴムの配合中に

添加した比較例の配合ゴムより 30 % ~ 100 % 高い縦方向の応力係数を有する、上記 1 2 に記載の配合ゴム。